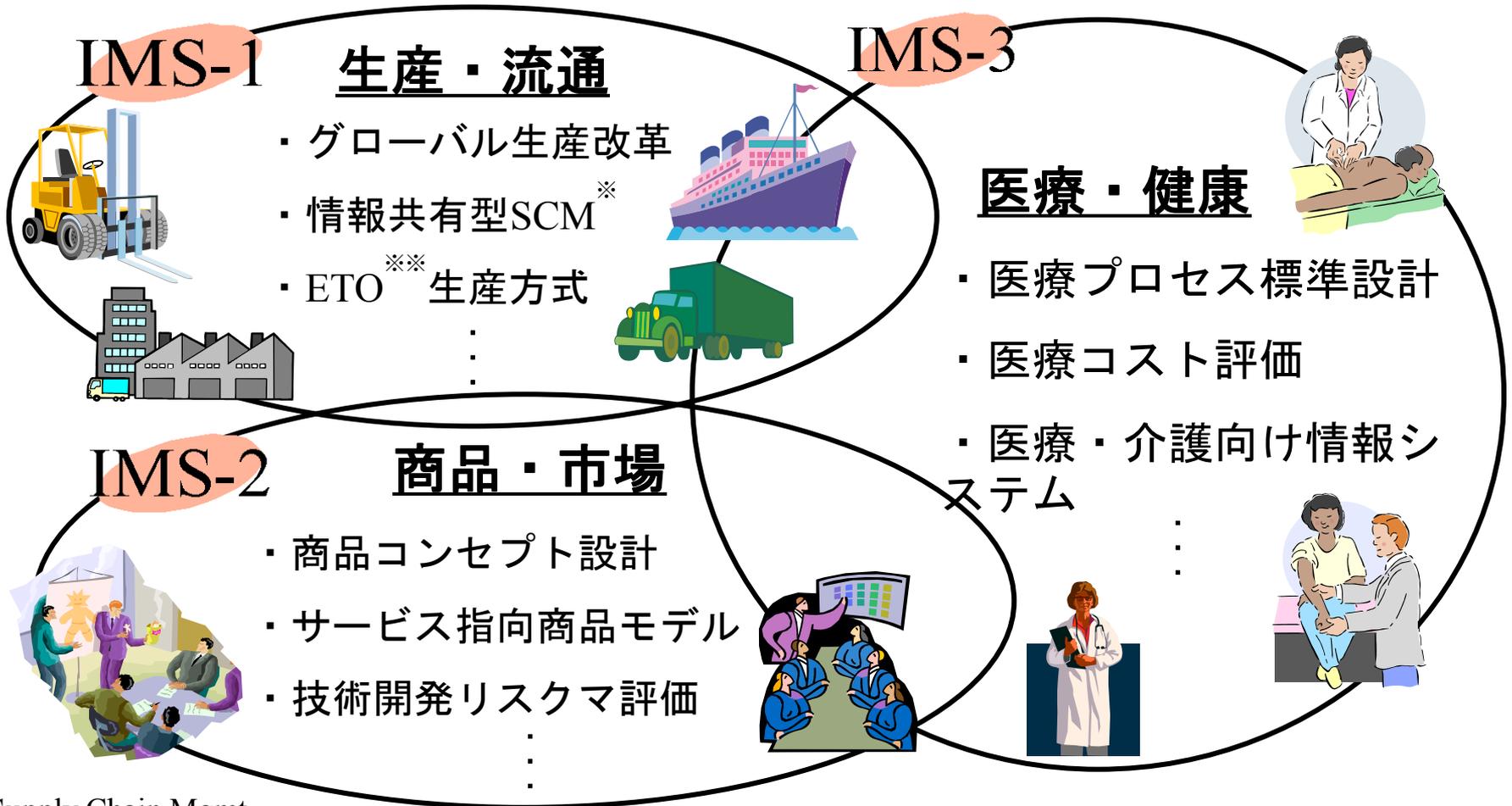


オペレーションズエンジニアリング研究

モノとサービスの創造(創る&造る)活動を対象に、業務革新策を研究



※Supply Chain Mgmt.

※※Engineering to Order

教育の狙い:経営革新エンジニアを育成する実践教育

1. 企画力・デザイン力のある人材

- 問題発見・目標設定を重視
- 学力よりも知力（考え方⊕領域知識）が大事

2. 行動する活力ある人材

- グループワーク：自分の意見を出し、周りとコミュニケーションする
- 研究出力よりも研究プロセスを重視

3. グローバルに活躍できる人材

- グローバル経済・文化といった教養知識の学習
- 英語コミュニケーションの向上

4. 「経営工学」という専門分野で戦える人材

- 大学院「経営デザイン専攻^{*}」プロフェッショナルスクール
- コンサルティング、生産・流通などのリーダ企業（20社）とのコラボレーション

大成研 ゼミ活動

区分	目的		実施内容の例	
研究	企画ゼミ	3年生・M1	フォローアップでなく 徹底した議論・論理的 思考力のUP	調査・企画フェーズに重点
	論文ゼミ	4年生・M2		分析・設計・実験フェーズ に重点
学習	演習ゼミ	手法&事例研究による 実践知識の獲得		<ul style="list-style-type: none"> ・各種シミュレーション技法 ・意思決定・評価手法（BSC, モダンヒューリスティック）
	文献ゼミ	英語で最先端の経営学 （領域知識）を学ぶ		Thersten Blecker 他 “Information & Management Sys. for Mass Customization”
合宿	定期ゼミ	<ul style="list-style-type: none"> ・研究成果発表 ・研究グループワーク ・懇親 		<u>3~4回/年</u> 2009年 12月（川奈）2泊3日 2010年 4月（鴨川）2泊3日 2010年 8月（川奈）2泊3日
	ハワイゼミ	国際化時代の経営エンジニアとしての の人生目標設定、及び英語学習		M1を中心とした希望者のみ 9月（2週間） ハワイ島 コナ

大成研のメンバー

大成 尚



早稲田大学 教授 (1995～), 工学博士

愛媛県出身 趣味：ゴルフ、ダイビング、温泉

早稲田大学 理工学部 工業経営学科 卒業 (学士：1970年 / 修士：1973年)

日立製作所 入社 生産技術研究所 第一部部長 (～1995年)

米国共同研究機関 CAM-Iプロジェクトマネージャ (1980～1981年)

カリフォルニア大学 IMS研究所 客員研究員 (2001～2002年)

ボストン大学 ビジネススクール 訪問教授 (2001～2002年)

日本能率協会 生産部門 評議員会副議長 (2003～)

APDSI(Asia Pacific Decision Science Inst.) Vice President (2000年～)

[2010年度のメンバー]

◆助教・助手・博士課程：3人 ◆修士課程：M2 (8人) / M1 (7人) ◆学部4年：11人
女子：3人 留学生：4人

[OB (主要就職先企業)] ※<http://www.ims.management.waseda.ac.jp> 参照

Canon / SONY / リコー / 日本IBM / ブリヂストン / 日立 / 東芝 /
三菱電機 / 日本HP / 富士通 / 松下電器 / NEC / 大日本印刷 /
日産自動車 / デンソー / NTT / NTTデータ / 野村総研 / 日本総研 /
フューチャー / 三菱商事 / 三井物産 / 他

大成研 研究タイトルの例 (09年度)

IMS-1

- ・「普及率を考慮した最大市場規模と最大時期の予測方法の研究」
- ・「受注生産型サプライチェーンにおける生産能力余裕率が与える影響の分析」
- ・「価格-需要曲線の楽観的ケース・悲観的ケースを考慮したりテーラ・メーカーの取引交渉に関する研究」
- ・「受注設計生産におけるコストを考慮した製品構成に関する研究」
- ・「ETO生産の引合・見積りフェーズにおける受注製品仕様設計方式の研究」

IMS-2

- ・「次期製品投入時期を決定する開発投資案のリスクを考慮した評価に関する研究」
- ・「製品に採用する技術の切替タイミングが収益に与える影響に関する考察」
- ・「生産ラインの生産性評価に用いる活動基準モニタリング方式の研究」
- ・「技術開発プロセスのモデル化による目標達成の不確実性の考察」

IMS-3

- ・「医療サービスにおける生産性分析のための活動モデルに関する研究」
- ・「クリニカルパスに用いる標準治療工程の検討」
- ・「緊急外来部門における業務分析と初期対応待ち時間の短縮に関する研究」

国際化時代のコミュニケーション能力の向上

- ・ 経営技術英語の修得（英語教材ゼミ，TOEIC受験）
- ・ 国際会議・学会発表・国際交流など海外活動の奨励

国際会議 at Virginia Tech./U.S. (8月/2003年)



←右から大久保助教、大成教授、櫻井君



修士1年 櫻井君の
発表風景 →
(現 東芝生産技術研究所)

海外合宿 at Hawaii Island (9月)



2010. 4大学院の研究指導教員の構成

経営デザイン専攻

理論担当

大成 尚
(オペレーションズE. 研究)
高田 祥三
(ライフサイクルE. 研究)
吉本 一穂
(ロジスティクスE. 研究)
大野 高裕
(プロフィットE. 研究)
棟近 雅彦
(品質マネジメント研究)
森 康晃
(知財マネジメント研究)

実践担当

村山 徹
(企業経営行動研究)
光國 光七郎
(生産流通プロセス改革研究)
澤口 学
(価値創造研究)
林 志行
(国際ものづくり戦略研究)
翁 嘉華
助教
鈴木 広人
次席研究員

副務教員 小松原明哲 (主務 経営システム工学)
副務教員 後藤正幸 (主務 経営システム工学)

経営システム工学専攻

逆瀬川 浩孝
(応用確率過程研究)
森戸 晋
(オペレーションズリサーチ研究)
永田 靖
(統計科学研究)
高橋 真吾
(システム論研究)
岸 知二
(ソフトウェア工学研究)
菱山 玲子
(知識情報処理研究)
後藤 正幸
(情報数理応用研究)
片山 博
(生産管理学研究)
小松原 明哲
(人間生活工学研究)

経営デザイン専攻の構成案

<p>経営機能</p> <p>経営対象</p>	<p>事業ストラテジーマネジメント</p> <p>戦略・計画の立案を行うための マネジメント</p>	<p>事業プロセスマネジメント</p> <p>事業のオペレーションを統制する マネジメント</p>
<p><u>新事業</u> <u>デザインマネジメント</u></p> <p>新市場・新商品を基に新 たな事業を起こすための マネジメント</p>	<p><u>テクノロジー事業デザイン</u></p> <p>先端技術に基づいた 革新的な事業創造のための技術</p>	<p><u>商品開発マネジメント</u></p> <p>顧客価値の高い製品・サービス の企画・開発プロセスための マネジメント技術</p>
<p><u>事業モデル</u> <u>デザインマネジメント</u></p> <p>事業環境の変化に合わせて 事業プロセスの改革を 行うためのマネジメント</p>	<p><u>グローバル・環境経営デザイン</u></p> <p>グローバル企業の世界展開における 製品戦略とバリューネットワークの計 画のための技術</p>	<p><u>競争力マネジメント</u></p> <p>製造・流通・販売プロセスの現場力の 改革・改善のための技術</p>

専攻・カリキュラムの特徴

- 事業創造・事業改革 の能力(知識・技能)向上に
焦点を当てた専門カリキュラム
- 演習・ケースに重点を置いた
問題発見・解決の知的能力の向上
- ビジネスを擬似体験する研究課題による実践力の養成
- グループワークによる
チームマネジメントとリーダーシップの涵養

科目構成

PBL演習科目 (9単位)

プロジェクト研究演習

講義科目 (48科目)

経営幹部のキャリアアップ講話 (1単位)

(例) ○○自動車 元副社長「生産革新と経営略」



理論科目 (9単位)

開発マネジメント
経営戦略論

手法科目 (6単位)

会計学
目標創造法



経営課題事例研究科目 (2単位)

(例) ○○経営企画部長「食品業界における生産革新」

研究指導演習／インターンシップ

研究演習科目
(13単位)